

環境基本計画 進捗管理表

1 取組みに関する基本情報

体系コード	1-1(1)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	1 豊かな自然環境の保全と活用		
取組みの展開	(1) 人との関わりが深い自然環境の保全		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)
① 森林の保全 地域による森林整備の取組み等により、水源かん養機能や景観維持等、森林が有する公益的機能の保全を目指します。
② 農地の保全 農地が農地として持続的に利用されるような取組みにより、農地の多面的な環境機能(保水機能や生物の生息環境、田園景観の重要な構成要素等)の保全を目指します。
③ 海の保全 水産資源の持続的な活用を図りながら、自然環境としての里海の保全を目指します。
環境情勢・動向

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
多面的機能の発揮に寄与する森林整備面積 【農林水産課】	290ha/年 (令和2年度)	308ha/年 (令和13年度)	186ha/年 (+18ha/年) (令和7年度)	B -	目標を下回ったが、林業事業者による整備以外にも市民・地域による森林整備や企業の森活動が推進された。
木の駅事業での受け入れ量 【農林水産課】	132t/年 (令和2年度)	200t/年 (令和13年度)	183t/年 (+6t/年) (令和7年度)	B -	目標を下回ったが、今後も継続的な受け入れとなるよう、広報周知等、事業を推進する。
地力増進支援事業によるたい肥投入面積 【農林水産課】	161.8ha/年 (令和3年度)	現状維持 (令和13年度)	230.1ha/年 (+33.7ha/年) (令和7年度)	A -	計画に定めた目標を達成した。今後も継続的に広報周知等を行い、事業を推進する。

4 取組み実績

取組み状況
・森林整備面積については、市内を管轄エリアとする3森林組合が受託森林や請負森林、分収林の除間伐及び新植等の森林整備を行ったほか、ひろしまの森づくり事業を活用した市民・地域による森林整備や企業によるCSR活動を目的とした森林整備の取り組みが進められている。 ・木の駅事業では、賀茂地方森林組合が運営する賀茂バイオマスセンターにおいて、市民及び森林組合員の伐採木の買い取りを行った。 ・耕畜連携を推進し、堆肥投入により地力増進を図りつつ環境負荷を低減(化学肥料使用量低減)し、多面的機能の発揮を促進した。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題
・森林整備を進めるには、山に対する森林所有者、地域等の関心を高めることが課題である。今後の方向性としては、本市の地域特性を踏まえ、多様な担い手による森林整備を進めていく。 ・新たな食料・農業・農村基本計画の推進のため、堆肥投入の拡大(環境負荷低減(化学肥料使用料低減))を図る。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-1(2)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	1 豊かな自然環境の保全と活用		
取組みの展開	(2) 自然とのふれあいの推進		

2 取組概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)

① 自然とふれあうことができる場づくり

森林、河川、海などの本市が有する多様な自然環境と、安全に楽しくふれあうことができる場づくりを目指します。

② 自然とふれあえる機会や活動の充実

自然とふれあうことによって、自然環境に対する理解や愛着を深め、環境保全に対する自主的な行動の促進を目指します。

環境情勢・動向

3 評価

活動指標

項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
自然公園の利用者数 【都市整備課】	102,900人 (令和2年度)	120,000人 (令和13年度)	142,234人 (+27,390人) (令和7年度)	A ↗	計画期間内に目標を達成した。

4 取組実績

取組み状況

【都市整備課】

- ・憩いの森公園は、目標値以上に利用者が増加している。
- ・インターネットによる予約システムの導入、電子決裁の導入

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題

【都市整備課】

施設の老朽化が著しく、施設のリニューアルなどを進めていく必要がある。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-1(3)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	1 豊かな自然環境の保全と活用		
取組みの展開	(3) 生物多様性の保全		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	生物多様性の保全 本市を特徴付ける、農耕地やため池などの混在する身近な里地里山環境に、多数の生物が生息・生育することを認識し環境保全意識を高め、これら環境を維持、整備することで生物多様性の保全を目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
動植物調査で確認された種数(ただし、外来生物は除く。) 【文化課】	動物(鳥):167種 植物:127種 (令和2年度)	現状値より増加 (令和13年度)	動物(鳥):167種 植物:127種 (±0) (令和7年度)	B -	引き続き調査を行う。
希少野生動植物の指定 【生活衛生課】	0種 (令和3年度)	現状値より増加 (令和13年度)	0種 (±0種) (令和7年度)	C -	担当課を通じて情報収集を行っている。
豊栄町清武周辺のオオサンショウウオ 個体数 【文化課】	23個体 (令和3年度)	現状値の維持 (令和13年度)	延べ46個体 (+8個体) (令和7年度)	A -	広島大学総合博物館・東広島オオサンショウウオの会と連携して、今後も継続的な調査を行っていく。

4 取組み実績

取組み状況	【文化課】 ・広島大学総合博物館・東広島オオサンショウウオの会等と連携し、豊栄町内の河川でオオサンショウウオの生息調査等を行った。 ・乃美住民自治協議会に委託し、オオサンショウウオの宿でオオサンショウウオの一時捕獲等の保護業務を行った。 【生活衛生課】 地域環境のモニタリングに適した野生動植物について担当課より情報収集を実施。
-------	--

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	【文化課】 近隣の岡山県や広島市で確認された中国産オオサンショウウオと在来種の交雑種の流入の防止が求められる。 河川工事に伴うオオサンショウウオの保護対応の検討が必要である。 【生活衛生課】 地域環境のモニタリングに適した野生動植物の指定に向けてプロセス設計を行い、進めていく必要がある。
---------	--

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-2(1)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	2 緑あふれる美しい町並みの創出		
取組みの展開	(1) 市街地の緑の保全と整備・創出		

2 取組概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)
① 市街地の緑の保全 公園や街路樹、生垣などを適切に維持・管理し、私たちの生活に潤いを与えるとともに、都市部における多様な生物の生息環境でもある、市街地の緑の保全を目指します。 ② 市街地の緑の整備・創出 公共施設や民有地等の緑化、公園の整備等により、市街地の緑の整備・創出を目指します。 ③ 総合的な景観形成の推進 良好な景観形成のためのルールづくり等により、快適で質の高い町並みの形成を目指します。
環境情勢・動向

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
一人当たりの都市公園面積 【都市整備課】	約6.4m ² /人 (令和2年度)	約6.5m ² /人 (令和13年度)	約6.55m ² /人 (-0.35m ² /人) (令和7年度)	A -	計画期間内に目標を達成した。

4 取組実績

取組状況
民間開発の増加に伴い、都市公園面積は増加した。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題
民間開発に伴う公園が増加する中で、公園の配置バランスや維持管理費の増などが課題となっている。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-2(2)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	2 緑あふれる美しい町並みの創出		
取組みの展開	(2) 歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)
① 歴史・文化的資源の保全・活用 歴史・文化的資源を大切に保全し、地域の歴史を学ぶ教材等として活用するなど、先人が私たちに残してくれた貴重な環境資源の保全・活用を目指します。
② 産業遺跡等の保全 西条酒蔵通りを中心とする酒造施設群を本市の文化として保存するため、良好な景観を維持するとともに、酒造り文化を守るため地下水の保全に努めます。
③ 歴史的な町並みの保全 白市の町並みなど、本市が有する歴史的な町並みの保全と活用を目指します。
環境情勢・動向

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
活動指標なし					

4 取組み実績

取組み状況
【文化課】 ・安芸国分寺歴史公園の樹木育成管理を実施した。 ・高屋町白市において、近代和風建築の文化財登録に向けた調査を行うとともに、地域住民を中心とするNPO法人による伝統的な町家等を会場としたイベントの支援を行った。
【都市計画課】 ・酒蔵地区においては、街並みと調和した景観保全のため、西条本通線の道路美装化を進めた。令和7年度は、美装化の未整備区間の修正設計を行い、さらなる美装化に向けて準備を進めてきている。 ・酒蔵通りの歴史的景観を守るためのルール作りを主な目的として協議会を立ち上げ、参画いただく住民らとともにこれから協議を進めていく。 ・歴史的な街並みが残る白市地区においては、交流拠点である白市交流会館を管理運営するとともに、白市歌舞伎の普及啓発活動に支援を行った。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題
【文化課】 引き続き適正な管理を行い、地域の歴史を学ぶ場として整備するとともに、歴史的な町並みの保全と活用に取り組む。
【都市計画課】 酒蔵地区の協議会において、それぞれの立場での意見があることから、まずは意見を共有し、目指す姿を明確化することが課題である。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-3(1)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	3 水・水辺環境の保全・向上		
取組みの展開	(1)健全な水質と水循環の確保		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	① 健全な水質の保全 水を汚さない取組みの実践等により、健全な水質の保全を目指します。 ② 適正な水循環の確保と水資源の有効活用 水源となる森林の保全や雨水利用等により、水循環の確保と水資源の有効活用を目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標						
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較		評価コメント
河川・海域の類型指定 水域におけるBOD・COD の環境基準達成率 【生活衛生課】	65.6% (令和2年度)	78.1% (令和13年度)	81.5% (-3.7%) (令和7年度)	B ↘		おおむね達成した。
汚水処理人口普及率 【下水道管理課・生活 衛生課】	87.1% (令和2年度)	97.3% (令和13年度)	89.8% (-0.2%) (令和7年度)	B -		一部地域において管渠建設工事の完了 が遅れ供用開始に至らなかったものの、 おおむね予定通り実施できた。

4 取組み実績

取組み状況	
【下水道管理課】 西条町寺家地区や高屋町高屋東地区等で下水道管渠建設工事を実施し、供用開始を行った。	
【生活衛生課】 ・河川や海域における水質調査測定を市内27地点において委託業務にて実施。 ・小型浄化槽設置整備事業補助金を設定し、汲取り式便所及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換を図っている。	

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	
【生活衛生課】 黒瀬川水域の環境基準の達成が課題となっている。 河川の水質改善は一定の成果が見られるものの、黒瀬川流域での環境基準を達成するために、継続してみなし浄化槽から浄化槽への切替えを推進していく必要がある。	

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-3(2)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	3 水・水辺環境の保全・向上		
取組みの展開	(2)水辺環境の保全とふれあいの創出		

2 取組概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	① 水辺環境の保全と再生 河川やため池、海などの水辺の自然環境を将来にわたって健全に保全するとともに、失われたり失われつつある水辺環境の再生を目指します。 ② 水辺とのふれあいの創出 安全に水辺とふれあえる場づくり等により、市民の憩いの場や、豊かな水辺環境の保全を考える場となる水辺空間の創出を目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標						
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント	※写真 の有無
活動指標なし						

4 取組実績

取組み状況	【維持課】 河川の維持作業を地域ぐるみで行う団体に対し報償金を交付する、河川維持作業報償金交付制度の実施した。 参加者の高齢化や熱中症予防等の理由で長時間作業ができない市民の方の参加促進のため、令和8年度より作業区分を2時間以上から1時間以上にしよう制度を改定した。 【廃棄物対策課】 河川等への不法投棄防止対策として、不法投棄の監視パトロール、不法投棄防止啓発看板の無料配布、ボランティアで地域清掃を行う個人・団体への支援(ゴミ袋の提供・集められたごみの回収等)等を行い、不法投棄をしにくい清潔な環境づくりに取り組んだ。 【生活衛生課】 ・生涯学習まちづくり出前講座において「川を通じて地域の環境を学ぶ」を実施した。
-------	--

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	【維持課】 河川の維持作業を地域ぐるみで行う団体に対し報償金を交付しているが、高齢化が進み地域で作業を実施することが困難であるという声が増加している。 【廃棄物対策課】 今後も河川等への不法投棄防止対策の推進に取り組む。
---------	--

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-4(1)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	4 良好な大気環境等の保全		
取組みの展開	(1) きれいな空気や静かな環境等の保全		

2 取組概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	① 大気環境の保全 空気を汚さない取組み等により、きれいな大気環境の保全を目指します。 ② 静かな環境の保全 日常生活や事業活動から騒音を発生させない取組み等により、静かな環境の保全を目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標						
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント	
大気汚染に係る環境基準項目のうち ^(注) 、二酸化硫黄・二酸化窒素・浮遊粒子状物質の適合率【生活衛生課】	100% (令和2年度)	現状維持 (令和13年度)	100% (±0%) (令和7年度)	A -	全測定地点において達成した。	
環境騒音に係る環境基準適合率【生活衛生課】	97.0% (令和2年度)	現状維持 (令和13年度)	93.0% (-2.7%) (令和7年度)	B -	おおむね達成した。	

(注)光化学オキシダントについては本市だけでは解決できない問題を含んでいるため目標には含めない。

4 取組み実績

取組み状況	【生活衛生課】 ・市内13地点において大気環境調査測定を委託業務にて実施し、環境基準項目において目標である現状維持を達成した。 ・市内57地点において環境騒音測定調査を委託業務にて実施し、57地点中53地点について、環境基準を達成した。
-------	---

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	調査を継続実施していく。
---------	--------------

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	1-4(2)	望ましい環境像	1 豊かな自然環境と共生した快適に暮らせるまち
取組みの柱	4 良好な大気環境等の保全		
取組みの展開	(2) 光環境の保全		

2 取組概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	光環境の保全 国のガイドラインに従い、無駄な明るさを減らし、光害の抑制に努めます。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標		項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
憩いの森公園上空における夜空の明るさ ^(注) 【生活衛生課】		19.03等級	19.03等級	現状維持	18.61等級 (-0.17等級)	B	おおむね目標値を達成した。
		(令和3年度)	(令和3年度)	(令和13年度)	(令和7年度)		

(注) 夜空の明るさは、天頂付近の天空の写真上で星が存在しない背景の明るさを示したもので、値が大きいほど夜空が暗い(星が見えやすい)ことを示します。

4 取組実績

取組状況	【環境先進都市推進課】 環境省が示す夜空の明るさ調査に従い、7月と1月にデジタルカメラで憩いの森公園上空における夜空を撮影した。
------	---

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	毎年、夏と冬に調査機会があり、継続実施し現状の把握に努める。
---------	--------------------------------

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	2-1(1)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	1 脱炭素社会の形成(気候変動対策)		
取組みの展開	(1) 省エネルギー対策の推進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	
① 省エネルギー機器等の普及	家庭やコミュニティ、事業所等に再生可能エネルギーの導入や、エネルギーマネジメントを浸透させ、幅広い分野のスマートシティ※化を図ります。
② 地球温暖化防止、脱炭素社会構築のための仕組みづくり	地球にやさしいライフスタイルへの転換など、市民一人ひとりの知恵と工夫により、地球温暖化の防止や脱炭素社会を実現していくための効果的な仕組みづくりを目指します。
③ 地産地消の促進	地場農産物の販売促進や学校給食、飲食店での利用拡大等により、フードマイレージの削減にもつながる地産地消の促進を目指します。
④ 省エネルギー活動の推進	市民一人ひとりがライフスタイルを見直し、日常生活や事業活動における省エネルギー活動を推進することにより、持続可能な環境都市の実現を目指します。
環境情勢・動向	
R5年度	東広島市温暖化対策実行計画改訂

※最先端の技術により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、生活の利便性や快適性を向上させることにより、人々が安心・安全に暮らせるまち

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績(暫定値) (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
市域の温室効果ガス 排出量 【環境先進都市推進課】	2,258千t-CO ₂ (平成25年度)	46%以上削減 今後精査を要する (令和12年度)	1,295千t-CO ₂ (+17千t-CO ₂) (令和4年度)	B -	市域の温室効果ガス排出量を適時把握できないため、直近年度でしか評価できないが、年々減少傾向にある。

4 取組み実績

取組み状況
【環境先進都市推進課】 スマートハウス化支援補助金の交付(R7実績 104件 R6実績 104件 R5実績 156件 R4実績 139件) 二酸化炭素排出抑制対策補助金(重点対策加速化事業)の交付(R7実績 市民58件、事業者2件)

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題
R5～R9 東広島市重点対策加速化事業の実施(太陽光発電設備等補助事業ほか) R7～R12 東広島市脱炭素先行地域づくり事業の実施(広島大学周辺の学生街の脱炭素化)

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	2-1(2)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	1 脱炭素社会の形成(気候変動対策)		
取組みの展開	(2)再生可能エネルギーの導入促進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	再生可能エネルギー導入の推進 東広島市に適した再生可能エネルギーの導入やエネルギーの地産地消を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。
環境情勢・動向	R5年度 東広島市温暖化対策実行計画改訂

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
再生可能エネルギー 導入容量 【環境先進都市推進課】	22.1万kW (令和元年度)	26.5万kW(注) (令和8年度)	28.9万kW (+0.7万kW) (令和7年度)	A -	予定通りに事業進捗している。

(注) 東広島市環境先進都市ビジョン第2期行動計画における目標

4 取組み実績

取組み状況	【教育総務課】 下黒瀬小学校(敷地内)、龍王小学校(駐車場)、御園宇小学校(屋上)、川上小学校(屋上)、磯松中学校(駐車場)に太陽光発電システムを導入 【地域づくり推進課】 高屋西地域センター、認定こども園たかや複合施設の屋上に太陽光発電設備設置 【環境先進都市推進課】 スマートハウス化支援補助金の交付(R7実績 104件 R6実績 104件 R5実績 156件 R4実績 139件) 二酸化炭素排出抑制対策補助金(重点対策加速化事業)の交付(R7実績 市民58件 事業者2件)
-------	---

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	【教育総務課】 今後、学校新築時や校舎増築時において、校舎屋上等に太陽光発電システムの導入を検討する。 【環境先進都市推進課】 R5～R9 東広島市重点対策加速化事業の実施(太陽光発電設備等補助事業ほか) R7～R12 東広島市脱炭素先行地域づくり事業の実施(広島大学周辺の学生街の脱炭素化)
---------	--

環境基本計画 進捗管理表

1 取組みに関する基本情報

体系コード	2-1(3)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	1 脱炭素社会の形成(気候変動対策)		
取組みの展開	(3)カーボンサイクルの推進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)
① カーボンサイクルの構築 石油由来プラスチックからバイオマスプラスチック等への代替を促進し、カーボンニュートラルを推進します。
② 森林吸収源対策の推進 林業経営適地の集約化を図り、経営力の高い林業経営者により県産材が安定的に生産される持続的な経営の確立を目指すことで、林業経営を通じた森林の持続的な経営管理を図ります。
③ ブルーカーボン生態系の活用 二酸化炭素の吸収源として、海洋における炭素固定を促進するため、藻場の保全を図るとともに、豊かな海の実現を目指します。
環境情勢・動向

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
三津湾の藻場面積 【環境先進都市推進課】	941ha (平成28年度)	現状維持 (令和13年度)	なし (変更なし) (令和7年度)	C -	直近の調査結果なし
(再掲)多面的機能の 発揮に寄与する森林 整備面積 【農林水産課】	290ha/年 (令和2年度)	308ha/年 (令和13年度)	186ha/年 (+18ha/年) (令和7年度)	B -	目標を下回ったが、林業事業者による整備以外にも市民・地域による森林整備や企業の森活動が推進された。
(再掲)木の駅事業 での受け入れ量 【農林水産課】	132t/年 (令和2年度)	200t/年 (令和13年度)	183t/年 (+6t/年) (令和7年度)	B -	計画に定めた目標を達成した。今後も継続的な受け入れとなるよう、広報周知等、事業を推進する。
(再掲)地力増進支 援事業によるたい 肥投入面積 【農林水産課】	1,617,913㎡ (令和3年度)	現状維持 (令和13年度)	2,301,079㎡/年 (+337,027㎡/年) (令和7年度)	A -	計画に定めた目標を達成した。今後も継続的に広報周知等を行い、事業を推進する。

4 取組み実績

取組み状況
【環境先進都市推進課】 三津湾の水質については、広島県の公共用水域調査業務において2地点の水質調査を実施している。
【農林水産課】 ・森林整備面積については、市内を管轄エリアとする3森林組合が受託森林や請負森林、分収林の除間伐及び新植等の森林整備を行ったほか、ひろしまの森づくり事業を活用した市民・地域による森林整備や企業によるCSR活動を目的とした森林整備の取り組みが進められている。 ・木の駅事業では、賀茂地方森林組合が運営する賀茂バイオマスセンターにおいて、市民及び森林組合員の伐採木の買い取りを行った。 ・耕畜連携を推進し、堆肥投入により地力増進を図りつつ環境負荷を低減(化学肥料使用量低減)し、多面的機能の発揮を促進した。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題
【環境先進都市推進課】 藻場面積の把握については、新たな調査を待たなければならずモニタリングの継続に課題がある。
【農林水産課】 ・森林整備を進めるには、山に対する森林所有者、地域等の関心を高めることが課題である。今後の方向性としては、本市の地域特性を踏まえ、多様な担い手による森林整備を進めていく。 ・新たな食料・農業・農村基本計画の推進のため、堆肥投入の拡大(環境負荷低減(化学肥料使用料低減))を図る。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	2-1(4)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	1 脱炭素社会の形成(気候変動対策)		
2 取組み概要	(4) 気候変動を見据えた適応策の推進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	
① 流域治水対策	河川の整備や維持修繕、防災重点ため池の整備や適正な管理、不用ため池の有効活用や民間による流域貯留施設の確保等、総合的な治水対策に取り組めます。 豪雨災害などによる被害の軽減に向け、雨水の貯留、ため池の豪雨診断等に基づいた適切な対策を図ります。
② 防災対策	自宅や勤務先をハザードマップ※で確認するなど、防災知識の習得に努めます。
③ 健康被害対策	温暖化に伴い増加するおそれがある熱中症の健康被害に関する知識を入手し、日頃から予防に努めます。
④ 水資源の有効活用	日常生活から節水を心がけ、雨水タンクに溜めた水を散水に使うなど水資源を有効に利用します。また、森林の保全活動に参加するなどして、水源のかん養に努めます。
環境情勢・動向	
【技術企画課】	令和8年4月1日に黒瀬川流域が特定都市河川に指定された。

3 評価

計画					
活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
活動指標なし					

4 取組み実績

取組み状況	
【下水道管理課】	寺家排水区(西条第二地区)及び七ツ池排水区において、市街地における浸水対策として、排水区内の雨水排水施設(雨水管渠)整備を行っている。
【技術企画課】	・廃止ため池の雨水貯留施設への転換に係る工事の実施(大地面池調整池)
【消防総務課】	庁舎の雨水利用
【管財課】	本庁舎での雨水利用 雑用水貯水槽へ貯蔵し、加圧方式により便所洗浄水及び屋外散水として供給 災害時は可搬式ろ過装置を使用し、飲料水として利用可能。水源容量は、災害時4日間176人が最低限過ごすことができる水量を確保(雨水不足分は上水受水槽より供給)
【危機管理課】	・風水害の危険が高まった際に、市民等に注意喚起や避難情報の伝達を行った。 ・市民の防災意識の醸成に向け、出前講座などの啓発活動や防災訓練を行った。
【農林整備課】	・県営事業により防災重点ため池(志和町の並滝寺池・小野池)の整備を進めた。 ・管理者等の届出がないため池の点検、水位調整が困難なため池におけるサイフォン設置による緊急放流、県営事業によるため池耐震診断等により適切な管理を実施した。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	
【技術企画課】	あらゆる関係者が協働して実施していくうえで、流域治水についての基本的な理念や方針を共有し、それぞれの取組内容を共有してフォローアップしていく体制が必要である。
【農林整備課】	農業用ため池の箇所数が多く(約3,500箇所)、改修や廃止工事等の防災工事に期間を要するため、低水位管理等による減災対策も検討していく。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	2-2(1)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	2 資源循環型社会の形成		
取組みの展開	(1) 廃棄物の排出抑制と資源の循環的利用の促進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	3Rを基本とした取組みの推進 「ごみはできるだけ発生させない(発生抑制:リデュース)」、「いらないモノは他の人や他の用途で使ってもらう(再利用:リユース)」、「資源として使えるモノは使う(再資源化:リサイクル)」の3Rを基本とした資源循環型のライフスタイルや流通形態の定着を目指します。
環境情勢・動向	R3.10 広島中央エコパーク供用開始に伴う最終処分量ゼロの達成 R4.3 東広島市ゼロカーボンシティ宣言

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
市民一人1日あたりのごみ排出量 【廃棄物対策課】	947g (令和2年度)	850g以下 (令和6年度) 以降、現状維持	876g (+1g) (令和7年度)	B -	ごみ搬出量は、減少傾向にはあるが、さらなる減量化への取組みが必要である。
資源化率 【廃棄物対策課】	10% (令和2年度)	22.2%以上 (令和8年度)	19.4% (-2.8%) (令和7年度)	B -	広島中央エコパークの運用開始に伴う資源化推進により、資源化率を大幅に向上したが、目標達成には更なる取組みが必要である。

4 取組み実績

取組み状況	【廃棄物対策課】 循環型社会の構築を目的として、マンガを活用した分かりやすい啓発活動の実施、生ごみ処理容器等の購入費補助によるごみ原料の推進、スーパー等の食料品等小売店舗が行う生ごみの堆肥化に対する支援、事業場から排出される紙ごみの資源化支援、さらに広島中央エコパークの運用開始による資源化の促進など、各種施策に取り組んだ。
-------	--

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	【廃棄物対策課】 家庭系の燃やせるごみについて、排出量に占める生ごみの割合が高いことから、生ごみ処理容器の普及を引き続き進めていく。事業系可燃ごみについても、排出割合の高い紙ごみの資源化に対する助成金などの施策を展開していくことにより、資源化・減量化を進める。
---------	--

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	2-2(2)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	2 資源循環型社会の形成		
取組みの展開	(2)不法投棄防止対策の推進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)
① 環境美化活動の促進による不法投棄の防止 多くの市民が環境美化活動に参加することで、ごみのポイ捨てや不法投棄をしにくい清潔な環境づくりを目指します。
② 不法投棄の早期発見による環境悪化の防止 不法投棄パトロールや地域清掃を実施することで、不法投棄を早期に発見し解決します。
環境情勢・動向

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
地域清掃の支援を行った回数 【廃棄物対策課】	383回 (令和2年度)	500回 (令和13年度)	444回 (+27回) (令和7年度)	B ↗	おおむね予定通りに進んでいる。引き続き不法投棄防止に係る対策に取り組む。
不法投棄されたごみの量 【廃棄物対策課】	100t (令和2年度)	70t (令和13年度)	64t (-9t) (令和7年度)	B ↘	おおむね予定通りに進んでいる。引き続き不法投棄防止に係る対策に取り組む。

4 取組み実績

取組み状況
不法投棄防止対策として、不法投棄の監視パトロール、不法投棄防止啓発看板の無料配布、ボランティアで清掃を行う団体に対しての支援(ごみ袋の提供・集められたごみの回収等)等を行い、不法投棄をしにくい環境づくりに取り組んだ。結果、不法投棄されたごみの量は計画当初時(令和2年度)と比較して、減少している。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題
今後も地域清掃活動の支援及び不法投棄防止対策の推進に取り組む。

環境基本計画 進捗管理表

1 取組みに関する基本情報

体系コード	2-3(1)	望ましい環境像	2 身近な取組みから地球環境保全に貢献するまち
取組みの柱	3 広域的・国際的取組みの展開		
取組みの展開	(1)地域を越えた連携と国際的な協力の推進		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	
① 市内における連携・協働	市内各地での個別の取組みを、地域や業種の枠組みを越えて連携・協働する取組みに拡充し、より効果的な取組みの展開を目指します。
② 広島県や近隣自治体等との連携・協働	広島県や隣接市町と連携・協働した取組みにより、共有する環境の保全や環境に関する共通課題の解決を目指します。
③ 国際的な連携・協働	産学官民が連携した積極的な国際協力の取組みにより、地球温暖化防止などの地球環境問題の解決に寄与することを目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
活動指標なし					

4 取組み実績

取組み状況	
【市民生活課】	開発途上の都市環境問題解決に向けたJICA研修「排水処理技術」コースに対する講義の協力
【生活衛生課】	エコネットひがしひろしまとの連携を通じ、イベントや交流会を実施し環境保全活動団体や個人間の交流促進を行った。

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	
---------	--

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	3-1(1)	望ましい環境像	3 環境を守り・伝える心と活動を育むまち
取組みの柱	1 環境教育・環境学習の推進		
取組みの展開	(1) 学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進		

2 取組概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	① あらゆる世代の環境教育・環境学習の推進 学校や家庭、事業所、地域における環境教育・環境学習を推進し、環境に配慮したライフスタイルや事業活動が当たり前のこととして実践される社会の形成を目指します。 ② 学習環境の多様化の推進 体験型、講義参加型の学習にとどまらず、ウェブを通じた学習環境の整備を目指します。 ③ 環境教育・環境学習に関わる人材の育成 環境教育・環境学習を支え、地域の環境保全活動のリーダーとなる人材の育成を目指します。 ④ Society 5.0を意識したエネルギー・環境学習 環境学習とIoTやAIを組み合わせた、Society5.0を意識した環境教育を目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
環境学習の授業時間数 【指導課、生涯学習課、 環境先進都市推進課、 生活衛生課】	148時間 (令和2年度)	246時間 (令和13年度)	207時間 (+5時間) (令和7年度)	B -	予定通りに実施できた。
環境に関する出前講座の実 施回数 【生涯学習課、環境先進都 市推進課、廃棄物対策課、 生活衛生課、下水道管理 課】	13回 (令和2年度)	50回 (令和13年度)	56回 (+3回) (令和7年度)	A -	予定通りに実施できた。
環境学習に関する ウェブコンテンツ数 【環境先進都市推進課、生 活衛生課】	1 (令和2年度)	60 (令和13年度)	15 (+11) (令和7年度)	B -	引き続き、既存のコンテンツとのリンク等 の充実について検討を行う。
環境又はSDGsに係る 研究授業及び校内研 修を実施した学校数 【指導課】	小学校 4校 中学校 2校 (令和3年度)	小学校 全校 中学校 全校 (令和13年度)	小学校 24校 中学校 3校 (令和7年度)	B -	オンラインによる環境学習を充実させる ことができた。 対前年比(小学校±0校、中学校-1校)

4 取組実績

取組み状況	【生活衛生課】 ・ホームページに既存のコンテンツを紹介する環境学習コンテンツの案内サイトを開設した。 【環境先進都市推進課】 ・近畿大学工学部と連携し東広島スマートエネルギー(株)が環境学習コンテンツを開設した。 【指導課】 ・ハーバード大学客員研究員を招聘し、黒瀬中学校、向陽中学校、吉川小学校、入野小学校の4校において、SDGsに係る先進国の取組等の話を聞いたり、自分たちが実践したことを発表したりした。 ・広島中央エコパークと小学校(希望校)をオンラインでつなぎ、環境学習を実施した。 ・広島大学と小学校(希望校)を遠隔でつなぎ、環境教育に関連のある社会科の授業を実施した。 【下水道管理課】 ・生涯学習まちづくり出前講座のほか、東広島浄化センターの見学を実施した。
-------	--

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	【指導課】 ハーバード大学客員研究員、広島中央エコパーク、広島大学と連携して実施している遠隔授業の充実を図り、学校における環境教育やSDGsに関する意識を高めていく必要がある。 【生活衛生課】 環境教育の提供について、現場のニーズを反映したコンテンツを引き続き作成する必要がある。
---------	--

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	3-2(1)	望ましい環境像	3 環境を守り・伝える心と活動を育むまち
取組みの柱	2 環境情報の充実		
取組みの展開	(1) 利用しやすい環境情報の整備と発信		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	① 環境情報の収集・共有 東広島市の環境に関する情報はもとより、国内外の環境情報など、環境保全活動等の参考となる各種環境情報を収集し、子どもから大人まで誰もが情報を共有できるような社会を目指します。 ② 環境情報の発信・交流 一方通行の情報提供ではなく、互いに情報を発信し、自由にやりとりができる、双方向型の環境情報社会を目指します。 ③ 環境情報の提供 環境白書に掲載している市が測定する大気環境や公共用水域の水質データ等について、オープンデータ化を図ります。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標						
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較		評価コメント
環境に関するオープンデータ登録データ数 【環境先進都市推進課、生活衛生課】	4 (令和3年度)	300 (令和13年度)	183 (+183) (令和7年度)	B -		おおむね予定どおり実施できた。
オンデマンド型環境教育コンテンツ数 【環境先進都市推進課、生活衛生課】	0 (令和3年度)	10 (令和13年度)	15 (+11) (令和7年度)	A -		予定どおり実施できた。

4 取組み実績

取組み状況	
【生活衛生課】 ・ホームページに既存のコンテンツを紹介する環境学習コンテンツの案内サイトを開設した。	

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	
ウェブ版環境学習センターに掲載するコンテンツについて検討を行う。	

環境基本計画 進捗管理表

1 取組に関する基本情報

体系コード	3-3(1)	望ましい環境像	3 環境を守り・伝える心と活動を育むまち
取組みの柱	3 市民・事業者等の環境保全活動の促進		
取組みの展開	(1)環境保全活動への参加促進と取組みの支援		

2 取組み概要

取組みの方向性(市・市民・事業者)	① 環境保全活動への参加促進の仕組みづくり 気軽に楽しく、継続的に環境保全活動に参加できるような仕組みやプログラムの充実を目指します。 ② 環境保全活動への支援 環境保全活動の立ち上げや、活動への支援の充実を目指します。 ③ 「自然との共生」を目指したライフスタイルの提唱 本市において、「自然との共生」を目指したライフスタイルを提唱し、産学官民が一体となってより積極的な活動の推進を目指します。
環境情勢・動向	

3 評価

活動指標					
項目	計画当初	目標値	実績 (対前年比)	R7年度評価 前年度比較	評価コメント
活動指標なし					

4 取組み実績

取組み状況	
【生活衛生課】 エコネットひがしひろしまとの連携を通じ、イベントや交流会を実施し環境保全活動団体や個人間の交流促進を行った。	

5 今後の課題及び方向性

取組み上の課題	
---------	--